

組合の楽しい便り 投稿歓迎します

ラベルニュース

No384

平成 28 年 10 月号

東京都ラベル印刷協同組合

編集:広報・情報システム委員会

☎111-0051 東京都台東区蔵前 4-16-4

TEL(3866)4561 FAX(5821)6443

GP 認定工場の取得を考えませんか?

取得費用は 9 人以下企業で約 8 万円 まさに小規模企業向けの環境制度

GPマークは印刷の総合環境配慮マークです



- 環境配慮の度合いを示します。(3段階)
- GPマークは、印刷製品の製造工程と印刷資材が環境配慮されていることを示しています。
- GPマークの下には印刷製品を製造した認定工場の認定番号が記されています。

平成十八年度に創設された「グリーンプリンティング認定制度」は、環境問題の高まりから、認定を受ける業者が増えていきます。すでに今年七月で三五九工場が認定工場となっており、今後さらに増えることが予想されています。しかし、シール印刷業界はまだ二〇工場にとどまっているため、改めてこの認定制度について取得することが望まれています。

グリーンプリンティング認定制度（略称・GP認定制度）は、本基準を達成した工場・事業所を認定、環境経営に積極的な印刷関連企業として推奨するとともに、同基準に適合した印刷製品にグリーンプリンティングマーク（GPマーク）を表示することにより、環境に配慮した印刷製品が広く普及することを目的としています。

本認定制度は、印刷業界の環境配慮自主基準（グリーン基準）に基づき、①基準を達成した印刷関連工場の認定、②認定された工場（GP認定工場）が製造した印刷製品へのGPマーク表示、③印刷関連工場が製造工程で使用する資機材を認定、の3つの制度を運用しています。

本制度は印刷形式により①オフセット印刷部門②シール印刷部門③グラビア印刷（軟包装）部門④スクリーン印刷部門4部門に分かれています。

今年七月現在でオフセット印刷部門で二七九工場、シール印刷部門で二〇工場、グラビア印刷部門で五六工場、スクリーン印刷部門で四工場となっており、現状では圧倒的にオフセット印刷が多くなっています。

シール印刷部門では、二〇工場ですが、当組合ではすでに六社が認定を受けていますが、ISO一四〇〇〇に比べて認定に係る費用はけた違いに安く、その後ランニングコストも三年間は掛からないなど、まさに小規模零細企業向けの制度といえます。

ちなみに九人以下の企業の場合は、認定申請料が二、〇五七二円、審査料が四、一一四三円、認定登録料が二、〇五七二円の計八二、二八七円です。

すでにISO一四〇〇〇を取得した企業も根ランニングコストがかかりすぎるという理由で、GPに切り替える企業もあり、もともと中小や小規模企業のために制定された制度であるために、すでに東京都を初め国の機関などでもGPは正式に認められており、金融機関などでも融資の際にはGPを取得している企業は環境に配慮している企業として評価するなど、GP取得の効果は絶大です。

認定工場になるには新生のための書類が必要ですが、小規模企業の場合はこれが一番のネックになります。組合ではそのためのお手伝いをする専門家も紹介しており、普通よりも格段に安く申請までお手伝いできまので、一度組合事務局まで御相談いただければと思います。

環境問題は今後さらに厳しくなることはあっても、緩和されることはありません。今からでもぜひご検討ください。

今年度初めての支部会を開催 丸昌化学工業の新製品などを紹介

今年度初の支部会は東西合同で、九月七日(水)午後六時より、池袋西口の「北海道池袋西口店」に於いて開催されました。

当日は丸昌化学工業の新しい粘着製品の紹介ということで、同社の最新の粘着製品各種を紹介しました。

特に改ざん・開封防止用のセキユリティユポ「ユポSAR60」は、多層構造であるユポの最下層が易剥離層となっているため、粘着加工を行いラベルに資、そのラベルを被着体から剥離しようとする、易剥離層が破壊し、最下層だけが被着体に残るもの。

「開封済み」などの改ざん防止のデザインは、ラベル印刷機などで表現するため、オリジナリティの高いセキユリティラベルを小ロットで製造することが可能という特長を持っているため、参加者の関心は高かったようです。

この他にもマスキングテープ・シール用としてや、再剥離が必要な和風ラベル用としても利用できる「和紙マスキングL296GW」等も紹介された。

この後、参加者による質疑応答となったが、日頃粘着製品で困っていることや新製品についての質問が出され、相変わらずの技術談議に花が咲き、いつもながらの支部会となり、最後は平山理事長が「有意義な支部会になりました」と締めくくりました。



日本印刷産業連合会

印刷の月式典を盛大に開催

「社会責任報告書」を発刊

日本印刷産業連合会の「二〇一六年九月印刷の月記念式典」は、九月十四日に紀尾井町のホテルニューオータニに於いて、業界関係者六〇〇名が参加して、盛大に開催されました。

記念式典で挨拶に立った山田会長は「今年度は昨年策定したブランドデザインの計画を継承し、従来から取組んできたテーマの成果をさらに高めていく」としたうえで、さらに「印刷産業全体で社会的責任を果たすために行っている活動を年度ごとに情報発信していくために、今回新たに『社会的責任報告書』を発行し、さらに社会から信頼される

産業を目指していく」と語りました。

環境優良工場表彰では、日本ラベルが連合会会長賞を受賞し表彰されました。また、印刷功労賞の表彰では、北海道シール印刷協同組合前理事長の大和誠氏が、印刷振興賞はシール印刷大阪府協同組合の谷口真司氏がそれぞれ受賞しました。

式典に先立って行われた記念講演会では、日本製紙の佐藤信一執行役員が「紙つなげ 日本製紙石巻工場復興の取組み」と題して五年前に発生した東日本大震災と熊本地震を経験した同社のBCPへの取り組みについて講演しました。



第18回ラベル関連ミニ機材展

18社が最新鋭機材の展示実演を

10月22日(土) 東商センターで



今年も恒例の「第十八回ラベル関連ミニ機材展」が、十月二十二日(土)に、台東区柳橋の東商センター三階展示場で開催されます。

同展は今年で十八回目を迎え、いまや業界の恒例行事としてすっかり定着し、

各協組のミニ機材展の草分けとなっております。

今回は十八社が、最新鋭のラベル関連機材を展示・実演する予定で、業界からも大きな期待が寄せられています。

■サンワークケン

純カタター「PT&シリズ」切れないラベルがあったらご相談ください。

■リントック

新しい粘着製品の紹介と提案

■光文堂東京支社

印刷インキ用OCMKBD Color インキ混合装置KBDスキンミキサ
ー プレゼン有

■丸伸製作所

様々な抜き型情報、Siシリコン刃、フローテープ、クラッチテープ。ミールダムなど
プレゼン有

■三條機械製作所

新製品「SEPI300」を中心としたカタログ、パネル展示
プレゼン有

■フナミズ刃型製版
エコマゲ他
プレゼン有

■サンケイビジネス
目標作成 工程管理ソフト

■日本ウエスト

RPF(廃棄物の固形燃料化)の事業推進と仕組み
プレゼン有

■森下製版

色装置ソフトSS Rimoon Color スーパークリーン空間形成装置
k o a c h 腐食刃
ゼンマイ刃
凸版

■久保井インキ

シール・ラベル用UVインキ
香料インキ、示温インキなど特殊インキ
プレゼン有

■創風システム

シール印刷支援システム、業務支援システム
プレゼン有

■大王製紙

森林認証紙を用いたFSC認証ラベル原紙(タック紙)

■塚谷刃物製作所

ピナクルダイ 簡易抜き機
高耐久性DLCコーティングの紹介
プレゼン有

■村田金箔

絶縁箔 ソフトメタル他
プレゼン有

■エイブライ・デニソン・

ジャパン・マテリアルズ
粘着ラベル製品の新ラインアップ及び新製品(イノベーション)の紹介
プレゼン有

■メディアアテクノロジー

ジャパン
インクジェットラベルプリンティングシステム各種
プレゼン有

■デジタルイメージング

コーポレーション
デジタルラベルフィニッシュャー(ロール式)ロールカッティングプロッター使用のラベル加工機) DCプロッター
プレゼン有

■ソルテック工業

PTカッター スリット
プレゼン有

労働者が最大限に能力を発揮し、長く働き続けるためには、働きやすい職場環境が必要です。また、都内中小企業においては、労働力の不足が顕著となっており、女性の活躍推進や、多様な働き方のできる魅力ある職場環境づくりが求められています。

そこで、東京都では、公益財団法人東京しごと財団と連携して、女性の採用・職域拡大を目的とした職場環境の整備や、仕事と育児・介護等の両立に向けた働きやすい職場環境づくりの取組を支援する助成金を新設します。

助成の内容

(1) 女性の活躍推進

女性の職域拡大等を目的として、女性が少ない職種に積極的に女性を採用・配置する計画をしている都内中小企業等に対し職場環境の整備に係る費用を助成します。

助成対象

女性の採用・職域拡大を目的とした設備等の整備

(新設・改修)

助成の対象となる費用の例

トイレ、ロッカー、仮眠室、ベビールーム（子ども連れで出勤した場合の授乳・オムツ替えなどのスペース）、工事現場に設置される仮設トイレの整備費用

助成金上限・助成率

限度額・五百万円、助成率三分の二

(2) 多様な勤務形態の実現

リモートワーク等を可能とする情報通信機器の導入による多様な勤務形態の実現のための環境整備。

女性の対象となる費用の例

モバイル端末等整備費用

ネットワーク整備費用

システム構築費用

関連ソフト利用料

上記環境構築を専門業者に一括委託する経費

助成金上限・助成率

限度額二百万円 助成率二分の一

助成対象

介護休業等に伴う代替要員の配置や育児。介護による短時間勤務に伴う人員補充

女性の対象となる費用の例

介護休業等に伴う代替要員、育児、介護による短時間勤務に伴う人員補充に係る経費(人件費)

限度額。助成率

限度額二百万円、助成率二分の一

※(1)、(2)の両助成金を利用する場合の限度額は五百万円です。

助成対象期間

二年度以内。

申請書類の提出(受理)

日以降、平成三十年三月末日までに終了する取組が対象です。

申請資格

常時雇用する労働者が二名以上で、都内に本社を置く中小企業等であること。

申請受付期間

平成二十八年五月十七日(火曜)

平成二十九年三月三十一日(金曜)

※予算の範囲を超えた場合は、申請受付期間内でも受付を終了します。

※詳細については助成金募集要項をご確認ください。

【申請書類受付窓口】

公益財団法人 東京しごと財団 雇用環境整備課

〒102-0072

千代田区飯田橋 2-6-6

ヒューリック飯田橋ビル

階 電話番号：〇三・五二一

一・二三九七

受付時間：九時三〇分～

十六時〇〇分(十二時〇〇

分～十三時〇〇分を除く)

※書類提出の際は、事前にお電話にてご予約ください。

■麻疹(はしか)とは

このところまた麻疹(はしか)が、はやっているようです。たいていの人は子どもに予防治射をしているので、罹っても軽く済む人が多いのですが、中には予防治射を一回しかしな

No141 健康がいちばん!

麻疹(はしか)がまた流行の兆し

ワクチン接種に優る予防法なし

は、二〇一二年までに麻疹を排除することを目標に決めています。

空気感染、飛沫感染、接触感染、いずれの方法によっても感染し、好発年齢は一歳代が最も多く、次いで六〜十一カ月、二歳の順です。近年、成人麻疹の増加が問題となっており、一〇〜二〇代での発症が多く報告されています。

■症状は

一〇〜一二日の潜伏期のうち、発熱で発症します。発熱期は咳、鼻水、症状が強くなり、三八度以上の発熱が数日続き、病気の経過中、いちばん感染力が強い時期です。その後、いったん解熱傾向を示しますが、すぐに耳後部付近から発疹が現れるとともに、三十九度以上の発熱が数日続きます。

かった、また、予防治射をしたかどうかとも忘れたという人も要るようです。

麻疹は麻疹ウイルスによる急性熱性発疹性のウイルス感染症で、感染力が極めて強く、死亡することもある重症の感染症です。日本を含めた世界保健機関(WHO)西太平洋地域で

がって全身の発疹となり、数日後、色素沈着を残して回復に向かいます。

肺炎、中耳炎を合併することが多く、一〇〇〇人に0.5〜一人の割合で脳炎を合併します。また、麻疹ウイルスに感染後、とくに学童期に発症することの多い中枢神経疾患として、(SPE)があります。知能障害、運動障害、ミオクローヌスなどの症状を示し、

発症から平均六〜九カ月で死亡する進行性の予後不良な疾患です。発症頻度は麻疹にかかった十万人に一人程度といわれています。

■予防方法は

ワクチンを接種して発症そのものを予防することが最も重要です。接種時期は、一歳になったらできる限り早く接種することが望まれます。日本では、二〇〇六年からMR(麻疹・風疹混合)ワクチンが広く使用されるようになり、2006年六月からは、一歳児と小学校入学前一年間の幼児を対象とした二回接種制度が始まっています。これらの時期に受けるワクチン

は、定期接種として通常、無料で接種が受けられます。また、二〇〇七年の全国的な麻疹流行は一〇〜二〇代が中心であったため、国の麻疹対策が大きく変わりました。二〇〇八年度から五年間の時限措置として、一〇代の者への免疫強化を目的に、中学一年生と高校生相当年齢の者に対する二回目の予防治射(原則としてMRワクチン)が、予防治射法に基づく定期接種に導入されました。

予防(ワクチン)に勝る治療はありません。ワクチンを接種する前に麻疹の患者さんと接触したことが判明した場合は、接触後四八時間以内に麻疹含有ワクチンを接種する、あるいは接触後五日以内にガンマグロブリン製剤の注射を受けることで発症を予防する、あるいは軽くすませる効果があります。ただし、家族内感染の場合は、これらの予防治射では間に合わないとい

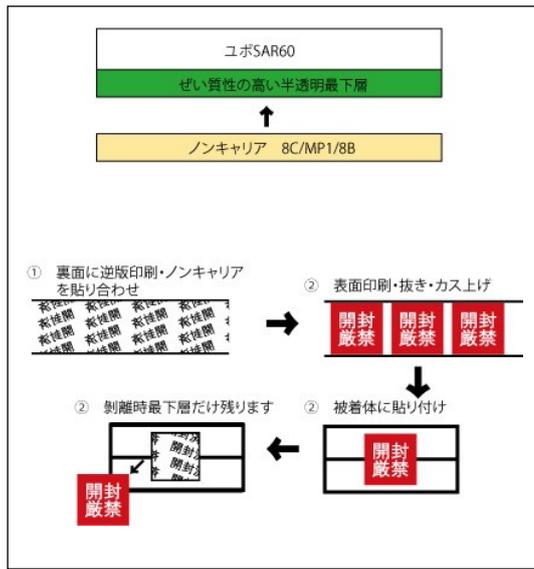
がほとんどです。

《参考資料》

http://medical.yahoo.co.jp/

丸昌化学工業(株)(千代田区神田和泉町一丁目二の七 〇五八二二一七七一〇)は、従来製造するの膨大なロットをメーカーに別注するか、印刷機上での糊引ユニットなど大掛かりな設備が必要とされていた、オリジナル印刷入りのセキュリティシールを、凸版平圧

オリジナル印刷入りのセキュリティシール
一般のシール印刷機でも簡単に製造



式印刷機など、一般的なシール印刷会社で保有している印刷機でも簡単に製造する事が出来るソリューションを提案しています。ユポ・コーポレーション(千代田区神田駿河台四丁目三番地 〇五二八一〇)が製造するセキュリティ基材「ユポSAR6

0糊無」とそれに粘着加工を施す為の両面テープ「ノンキャリア8C/MP1/8B」の組み合わせでの印刷加工です。SAR60は、三層構造の最下層が上二層から層間剥離し易い性質を持っています。この基材の性質を利用してセキュリティシールを作るのですが、平圧機などでの工程例として、まずその糊無しユポSARに裏面に逆版で印刷をし、その後ラミネートユニットで裏面に、SAR用に開発された基材がついていない糊だけの両面テープ「ノンキャリア8C/MP1/8B」を貼り合わせして巻き取ります。そして2工程目で表面に印刷、抜き、カス上げをすると、被着体から剥がした事が一目で分かるセキュリティシールが完成します。

▼「ユポSAR60糊無し」有効巾1050mm 100m以上
▼「ノンキャリア8C/MP1/8B」有効巾1000mm 100m以上

このセキュリティシールの特長としては、
① オリジナルの柄を小ロット・短納期で製造

